

宮古市

宮古市長からのメッセージ

東日本大震災後、たくさんの方々からご支援ご協力をいただきながら、「必ずや復興を成し遂げる」この強い思いを胸に、復興への歩みを進めております。

引き続き、活気と笑顔あふれる『「森・川・海」とひとが共生するやすらぎのまち』の実現のため、市民とともに未来を切り開くまちづくり「宮古創生」に全力で取り組んで参ります。

今後もお支援賜りますようお願い申し上げます。



宮古市長
山本正徳

1 宮古市の概要

平成17年6月6日に旧宮古市・旧田老町・旧新里村による新設合併、平成22年1月1日に旧川井村との編入合併を経て、現在の新宮古市が誕生しました。

当市は、岩手県沿岸部のほぼ中央、本州では最東端に位置しています。人口は約56,000人、約1,260km²もの広大な面積を有し、三陸復興国立公園と早池峰国立公園とを閉伊川が結ぶ、自然環境に恵まれた地域です。

2 復興状況

東日本大震災からの復興計画は、9年間の最終年度を迎えます。復興計画に掲げた多くの事業は概成しております。震災以前よりも活力があり、魅力あふれるまちとして発展するための取り組みを行う復興事業の総仕上げの年として、引き続き「すまいと暮らしの再建」をはじめ、「産業・経済復興」、「安全な地域づくり」の3つの柱に基づき、復興の取り組みを進めてまいります。

昨年6月には、岩手県初となる定期フェリーが当市と北海道室蘭市を結ぶ「宮蘭航路」として就航いたしました。また、10月には、市民サービスと賑わいの拠点が交通の結節点として、中心市街地拠点施設「イーストピアみやこ」が完成、オープンいたしました。

本年3月には、三陸鉄道南北リアス線とJR山田線宮古・釜石間がつながり、新たに「リアス線」として三陸鉄道により一貫運行され、新たなまちの姿が見えてきたところです。

3 応援職員のメンタルヘルスケアに係る取組

全職員を対象に、チェックリストによるメンタルヘルス状況の確認（年度2回）と、チェックリスト結果により専門医との個別カウンセリングを実施しています。

その他、心の健康相談会、メンタルヘルス講習会、災害派遣職員メンタルヘルス研修会への参加を斡旋するとともに、応援職員には県市町村課で常設した「日常的な相談窓口」について周知しています。

4 住居、周辺環境

(1) 住居

種類	一般的な間取り	勤務地からの距離	家財道具調達要否	入居費の負担
民間アパート	2DK、1LDK	1.7Km	要	なし
ホテル	シングル(12m ²)	1.0Km	不要	なし

(2) 周辺環境

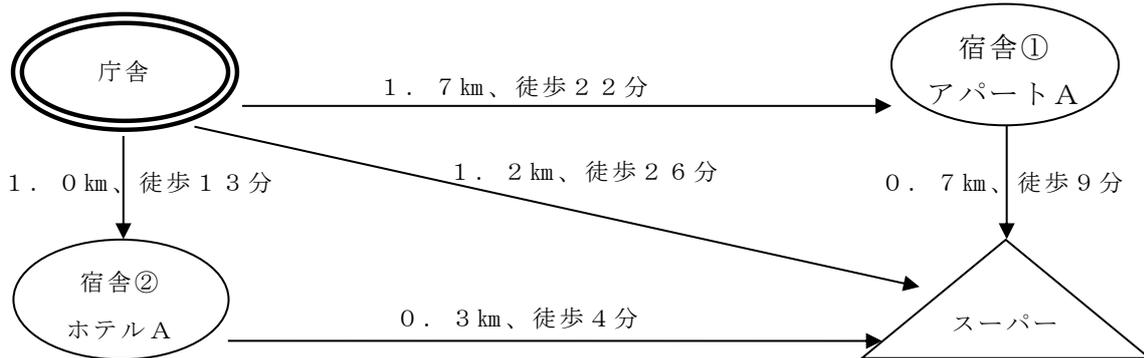
種類	位置	営業時間	備考
スーパーマーケット	市役所から約1.1km(車で4分)	10:00~21:00	
ホームセンター	市役所から約2.5km(車で6分)	10:00~21:00	
コンビニエンスストア	市役所から約0.4km(徒歩3分)	24時間	
金融機関(ATM)	市役所・敷地内	09:00~19:00	
病院(県立宮古病院)	市役所から約5.0km(車で13分)		

(3) 待遇（手当等）

種類	受入市町村支給可否	支給額（又は支給率）
赴任旅費	可	（例）東京 156,150 円【単身】
単身赴任手当	支給実績なし	
災害派遣手当	可	1 日 3,970 円（公舎扱い）
通勤手当	可	（例）交通用具使用者 2 km 以上 4 km 未満 2,100 円
帰省旅費	可	往復交通費相当額を補助
寒冷地手当	不可	
帰任旅費	可	（例）大阪 171,670 円【単身】

5 勤務地と住居等との位置関係

応援職員の方々の住居は、本庁舎から 2 km 以内に確保するように努めています。



6 写真（復興の状況、応援職員の勤務の様子等）



【左上】
宮古市と北海道室蘭市を結ぶ
「宮蘭フェリー」第 1 便就航
（平成 30 年 6 月）

【右上】
市民サービスと販わいの拠点が
交通の結節点に完成
「イーストピアみやこ（宮古駅周辺）」
（平成 30 年 10 月）

【左下】
「三陸鉄道リアス線」として一貫
運行を始めたリアス線第 1 便運航
（平成 31 年 3 月）